

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価等報告書

平成29年3月

川南町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、平成27年度の川南町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について報告します。

平成29年3月30日

川南町教育委員会教育長 木村 誠

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象

川南町の教育基本方針である「平成27年度ふるさと川南の教育」に掲げた活動又は施策で、平成27年度に実施したものを対象とする。

なお、評価項目の分類（大、中、小）については、次のとおりである。

(1) 大分類

- ア 教育委員会の活動
- イ 教育委員会が管理執行する事務
- ウ 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務

(2) 中・小分類

- ア 教育委員会の活動では、会議の状況や首長部局との交流状況、学校等への関わり合い等の項目
- イ 教育委員会が管理執行する事務では、教育行政を運営していく上で必要な事項
- ウ 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務では、「平成27年度ふるさと川南の教育」に掲げた活動又は項目

3 点検・評価の方法

点検・評価については、評価対象年度における達成度により4段階に分類した。

なお、案件のなかった項目については、「C」判定とした。

- A 期待通り達成できた（100%）
- B 概ね期待通りに達成できた（80%～99%）
- C 期待通りではないが達成できた（50%～79%）
- D 達成できなかった（50%未満）

項目			点検評価				説明
大	中	小	A	B	C	D	
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	○				定例会を毎月1回、計12回開催した。
		教育委員会会議の運営上の工夫		○			円滑な会議の実施に向け、事前勉強会や会議開催前の資料の事前配布等を実施した。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	教育委員会会議の傍聴				○	傍聴者なし。
		議事録の公開、広報				○	議事録の開示請求は、なかった。
	(3)教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携強化	○				定例会開催時に随時状況報告を行い、意見交換を実施して連携を図ることができた。
	(4)教育委員会と町長部局との連携	教育委員会と町長との意見交換会の実施	○				総合教育会議や学校経営ビジョン説明会を行い、教育委員会と町長、町長部局との情報の共有等を図ることができた。
	(5)教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	○				県及び児湯地方教育委員会連絡協議会が主催する研修会に参加し、自主研修は、延岡市、五ヶ瀬町教育委員会で土曜授業、G授業等について研修した。
	(6)学校及び教育施設に対する支援、条件整備	学校訪問	○				唐瀬原中学校区の小・中学校の学校訪問、国光原中学校区の小・中学校の視察訪問を実施した。
		所管施設の訪問				○	教育委員会所管施設の訪問を実施した。

項目			点検評価				説明
大	中	小	A	B	C	D	
2 教育委員会が管理執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。		○				会議開催時には随時状況報告を行い、意見交換や研修を計画実施しながら連携を図ることができた。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。		○				教育委員会の規則及び要綱について見直しを実施し、制定及び改廃した。 (制定3件、改正6件、廃止2件)
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。					○	特になし。
	(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。		○				関係法令に基づき、職員の任免をした。
	(5) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること。				○		平成26年度の川南町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出、公表した。
	(6) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること。				○		歳入歳出予算について定例会で説明報告をした。
	(7) 教育振興基本計画に関すること。		○				「平成27年度ふるさと川南の教育」を作成し、川南町教育基本方針、実施施策を定め、学校に周知した。
	(8) 教科用図書の採択に関すること。				○		教科用図書児湯採択地区採択協議会の会議により次回採用の中学校教科用図書について協議を重ね、決定した。
	(9) 通学区域に関すること。		○				規則に基づき、通学区域外通学の許可申請の可否を実施した。川南町小学校小規模特認校指定実施要綱に基づく申請は、2件あった。
	(10) 文化財の指定及び指定の解除に関すること。				○		町文化財指定に向けて関係機関と協議を行った。
	(11) 附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。				○		関係法令及び例規に基づき、委員の任免又は委嘱を実施した。
	(12) 県費負担市町村職員の任免その他進退に係る内申に関すること。				○		関係法令に基づき、適切な対応ができた。
	(13) 教育財産の取得及び処分のうち、重要なものに関すること。					○	特になし。
	(14) 教育委員会と職員団体との協定に関すること。					○	特になし。

項目			点検評価				説明	
大	中	小	A	B	C	D		
3 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務について	I 町民総ぐるみによる教育の推進	学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進	○				学校支援コーディネーターを配置し、川南小を推進校として学校と地域及び企業との連携を行った。生涯学習講座等で学習されている方々を対象に授業支援依頼をした。	
		家庭や地域の教育力の向上		○			学校と連携して家庭教育学級で研修を実施し、元気っ子・放課後子ども教室を通して子どもの学ぶ機会の充実を図った。	
		開かれた学校づくりの推進	○				各中学校区で学校関係者評価委員会を開催した。	
	II 生きる基盤を育む教育の推進	就学前教育の充実			○			家庭教育支援チームにより相談窓口を設けた。
		確かな学力を育む教育の推進			○			NF知育部会の活動を中心として、各学校の実態に即した目標を設定し学習を行っている。
		豊かな心を育む教育の推進	○					子どもの活動フォーラムでいじめ問題について発表等を行い、各学校で取り組むテーマを決め、取り組んだ。
		健やかな体を育む教育の推進			○			NF体育部会において、小中学校児童生徒の運動能力の実態を把握し、スポーツ水準の向上と底辺拡大に努めた。
		共生社会を目指す特別支援教育の推進	○					基準に基づき、支援が必要な児童生徒への学習活動等の充実を図ることができた。就学相談会を実施し、15件の相談があった。
		人権が尊重される社会を目指す教育の推進	○					道徳教育や人権教育、施設での体験学習等を通して心の教育の充実に努めた。
		技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進			○			小学校にデジタル教科書を導入した。
	III 自立した社会人、職業人を育む教育の推進	ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進			○			三大開拓地交流事業を川南町で開催し、十和田市18名、矢吹町20名、川南町22名の児童が参加した。
		地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進			○			子ども会親善レクリエーション大会、地域一斉活動を開催し、自治公民館の活動機会を提供した。また、各自治公民館が主催するスポーツ行事に対して一部助成を行い、館員の健康増進及び交流親睦を深める契機とした。
キャリア教育の推進				○			両中学校で職場体験学習を行った。	

項目			点検評価				説明
大	中	小	A	B	C	D	
3 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務について	IV魅力ある教育を支える体制や環境整備、充実	教職員の資質向上		○			教職員教育研究論文を募集したところ、積極的な応募があった。授業力向上への積極的な姿勢がうかがえる。(応募状況 団体4件、個人19件)
		学校における安全、安心の確保	○				各学校とも学校経営案に安全計画を策定、実施することで校内外の安全な環境づくりが保たれている。また、PTAや地域の方々による見守り隊の活動も行われている。
		学校の教育環境の整備、充実		○			3小学校、2中学校の屋内運動場の照明器具等耐震補強工事を行った。育英会で新しく17件貸与し合計42件になった
	V生涯を通じて学び、挑戦できる社会づくりの推進	生涯学習の振興		○			各年齢層に対応する講座を開設、生涯学習大会を開催し学習の機会や発表する場を設けた。新たに長期休業期間中のみだが多賀小、山本小で児童クラブを開設した。
		スポーツの振興		○			「ロードレース大会 in かわみなみ」や「町民親善バレーボール大会」を開催した。総合型地域スポーツクラブの「川南スポーツ合衆国」の設立準備を行った。
		文化の振興		○			登り口奴踊り等の川南町の郷土芸能に活動費の一部を助成、川南湿原等の文化財を保存、保護するために環境整備に努め、新たに天龍梅を町指定するために関係機関で協議を行った。 町立文化ホール・図書館は、指定管理者の様々な取組みにより利用促進が図られている。